

令和3年度第2回柏市地域包括支援センター運営協議会 会議録

1 開催日時

令和3年11月4日（木）午後1時30分から3時まで

2 開催場所

柏市役所分庁舎2第3会議室（参集型とオンライン形式の併用）

3 出席者

(1) 委員

石山委員（会長），織田委員（副会長），井部委員，鎌田委員，齊藤委員，中村委員，前野委員，村上委員

(2) 市

高橋保健福祉部長，梅澤地域医療推進課長，浅野地域医療推進課専門監，宮本高齢者支援課長，後藤障害福祉課統括リーダー

(3) 事務局（地域包括支援課）

吉田課長，竹本専門監，宮島専門監，阿部統括リーダー，秋谷副主幹，横山副主幹，長谷部副主幹，酒井副主幹，布施主査，相澤主事，堀毛主事，宇賀神主事補

(4) 地域包括支援センター

山本柏北部地域包括支援センター長，俵柏北部第2地域包括支援センター長，大島北柏地域包括支援センター長，菅野北柏第2地域包括支援センター長代理，笠原柏西口地域包括支援センター長，小野田柏西口第2地域包括支援センター長，村本柏東口地域包括支援センター長，志摩柏東口第2地域包括支援センター長，本部光ヶ丘地域包括支援センター長，神津柏南部地域包括支援センター長，橋本柏南部第2地域包括支援センター長，日笠沼南地域包括支援センター長

4 議題

令和3年度地域ケア推進会議について

5 報告事項

(1) 自立支援・重度化防止に向けた取り組みの推進について

(2) 介護予防支援及び総合事業に係るケアマネジメント業務について

(3) 柏市地域包括支援センター運営方針と部門計画との関連について

て

6 議事

令和3年度地域ケア推進会議について

事務局，柏南部地域包括支援センター及び柏北部地域包括支援センターより資料1に沿って説明したのち，質疑応答を行った。主な内容は次のとおり。

【中村委員】

見守りが必要なかたは独居や地域との関わりが薄いかたで，近隣住民もどのように関わってよいか分からない。

ヘルパーとして近隣住民から対象者の様子を聞かれることもあるが，個人情報保護の観点もあり伝えにくい。心配なかたはまず地域包括支援センターに連絡し，センターと介護サービス事業者との橋渡しをしてもらえると，地域での支援の輪が広がるのではないか。

また，コンビニエンスストアや商店からも気になる人をセンターへつないでもらうことで早期発見につながるのではないか。

対象者と近隣住民との関係性が良好な場合は，介護サービス事業者と近隣住民がつながり，見守り支援をしているケースもある。

報告にあった移動スーパーの取組みは良い。移動スーパーの地点が安否確認の場となる。北部地域以外の買物が不便な地域にも広めてほしい。

【鎌田委員】

民生委員として，この2年間，75歳以上高齢者への戸別訪問事業が実施できていないが，9月に80歳以上高齢者に敬老祝いの戸別訪問ができた。事務局からの説明で高齢者独居が毎年1,000世帯増加しているとあったが，配偶者の施設への入所や死亡等により独居となるかた等が増えていることを実感している。

これまで社会と関わりがなかったかたはどう関わってよいか分からないのだと思う。

認知機能や身体機能の低下により日常生活に困っているかたを地域包括支援センターにつないでいるが，民生委員へは近隣住民からつなげてもらっている。今後，民生委員として関わるかたはますます増加すると感じている。

事務局からオレンジフレンズについての説明があり，もっと広めてほしいが，柏市内でどれくらいのかたがオレンジフレンズとして登録しているのか。

【事務局】

約480名に登録してもらっている。

【中村委員】

市にごみ出し困難者支援収集制度があり，助かっている。ごみが指定の場所に出されていない場合には確認の電話連絡があり，見守りにもなっている。

【石山会長】

方策の検討だけでなく，既存制度活用の確認も重要である。

【織田委員】

高齢者が診療所に来られる際は，服装や保清の状況，薬の紛失，夫婦世帯だが妻しか来ない等，着目する点があるが，その状況が地域でどれだけ把握されているか分からない状態で来られる。気になるかたについては地域包括支援センターに連絡し共有を図るが，現状としては地域包括支援センターで把握していることが多い。

また，地域包括支援センターから医療的な介入を必要としているかたについて連絡をもらい，連携することもある。

【石山会長】

情報については重複してもよく，支援者が確認し合い，漏れを少なくしていく取組みが重要である。

【村上委員】

ふれあいサロンを1年8カ月ぶりに開催した。認知症の傾向があった参加者について，サロンを休止している間に認知機能の低下がかなり進行していたが，休止の間，民生委員や地域包括支援センターが状況を把握しつつ，近所のかたが見守りを行っている良い支援ができていた。

移動スーパーに実際に行ってみたが，高齢者が楽しみにスーパーの到着を待っていた。普段，家族やサービスを利用することで不足なく品物の調達はできているが，自分で見て買い物ができることが嬉しいと言っていた。今後も必要な地域に広めてほしい。

【井部委員】

ケアマネジャーとして活動しているなかで、ごみ出しや買物支援等、介護保険では支援できない部分に困っていたが、地域包括支援センターの介入もあり、市内各地域にいろいろなサービスができてありがたい。事例紹介では北部地域と南部地域の例があったが、中央地域での活動も知りたい。

【斎藤委員】

8050問題は気になっており、特に息子と両親という構成の場合、地域から孤立する印象がある。このような世帯は独居世帯ではないため抽出も難しく、埋もれているのではないかと。

【前野委員】

日常生活のなかでは認知症かどうかの判別は難しい。

見守り体制が不十分であることの原因は何か。

今回議題とされた内容以外にも、日々の医療や介護といったサービスの質の向上に取り組んでほしい。

【事務局】

委員の御質問・御意見を受けとめ、個々のサービスの質向上に向け取り組んでいく。

見守り体制の1つとして、元気なうちから、また、近いところでの交流の場づくりや交流への参加といった社会参加の取組みの充実が、見守りの継続につながると実感しているため、まずは多様なニーズに応じた通いの場づくり、居場所づくりに取り組んでいきたい。

また、オレンジフレンズと議論を重ねながら、地域の特徴に合った形での見守り策を検討していく。

それらと同時に、既存制度の把握を改めて行い、整理していく。

移動スーパーについては他エリアへも拡大したいが、事業としてスタートしたばかりであり、様子を見ながら皆さんの協力を得ていきたい。

商業施設等との連携について、市では、商業施設に設置している地域包括支援センターが各事業で連携を図っている。また、各地域包括支援センターがエリア内のスーパーやドラッグストアと協力して認知症啓発イベントを行う取組みができていますが、アフターコロナを見据えた展開を考えていきたい。

本日、委員皆様からいただいた御意見や実情の紹介も踏まえ、引

き続き，関係各課と連携を図りながら取組みを進めていく。

7 報告事項

(1) 自立支援・重度化防止に向けた取組みの推進について
事務局より資料2に沿って報告を行った。

(2) 介護予防支援及び総合事業に係るケアマネジメント業務について
事務局より資料3に沿って報告を行った。

(3) 柏市地域包括支援センター運営方針と部門計画との関連について
事務局より資料4に沿って報告を行った。

8 傍聴

なし

9 次回開催日時（予定）

令和4年2月24日（木）午後1時30分から